

# HOYA株式会社

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年7月31日

# 将来予測に関する記述

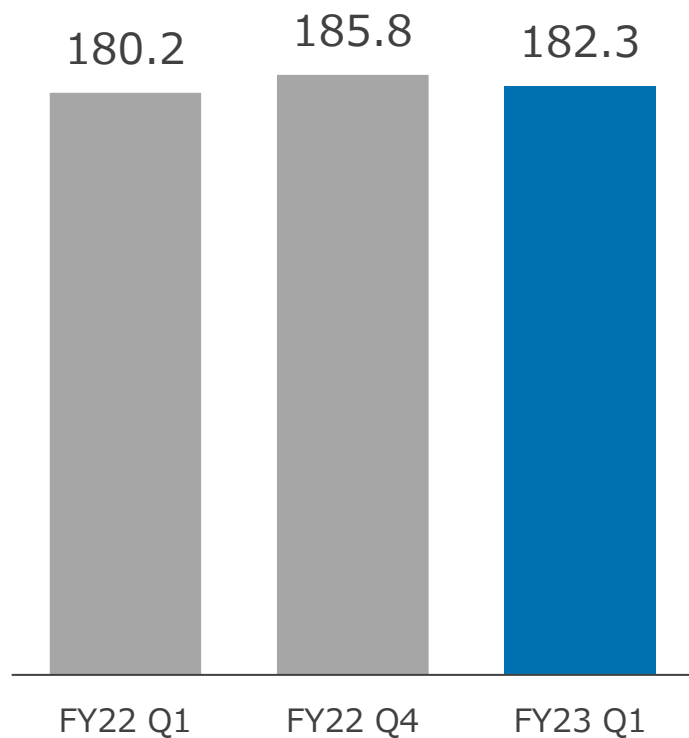
当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

# 01. FY23 Q1の業績

# 連結業績概況

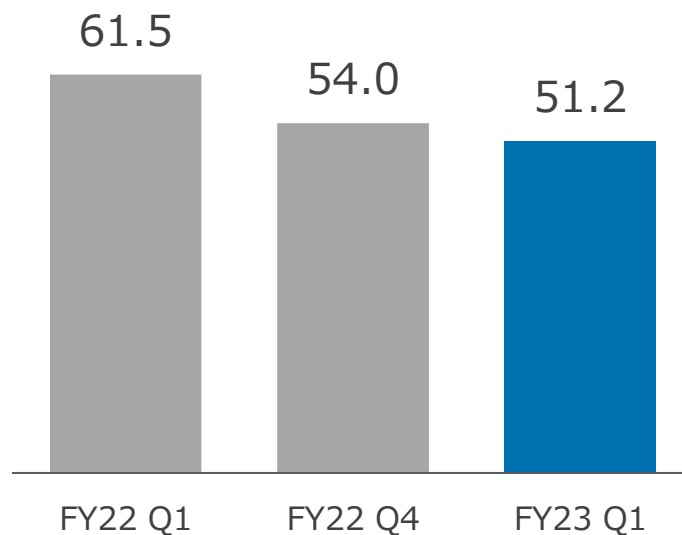
- 情報・通信事業が全般的に低調だったものの、ライフケア事業がカバーし、前年並みの売上収益を確保。
- HDDガラス基板のラオス工場の長期稼働停止に伴う減損損失を79億円計上したことで減益。

売上収益 (十億円)



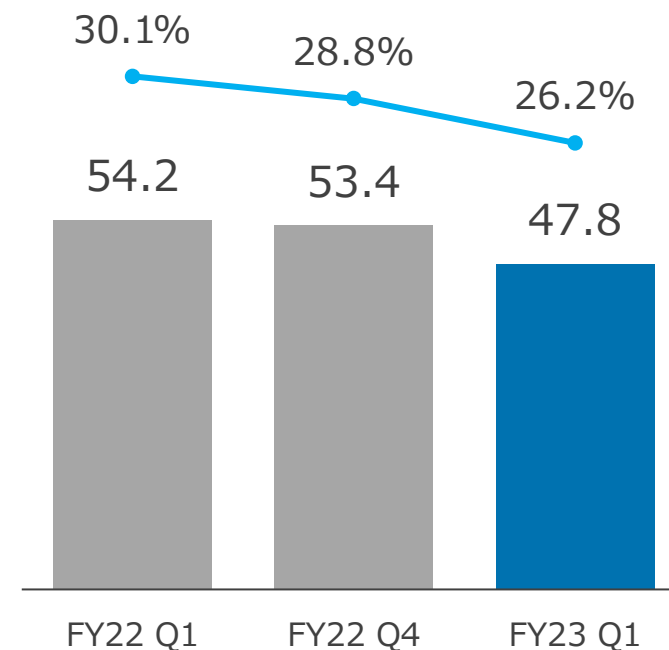
YoY +1% (CC\* -2%)

税前利益 (十億円)



YoY -17% (CC -20%)

Cf.通常の営業活動からの利益/利益率

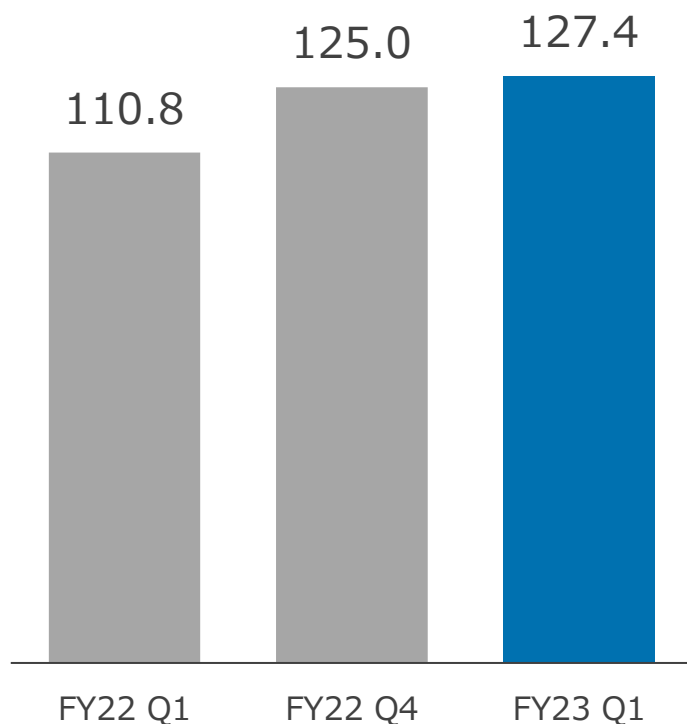


YoY -12% (CC -14%)

# ライフケア事業概況

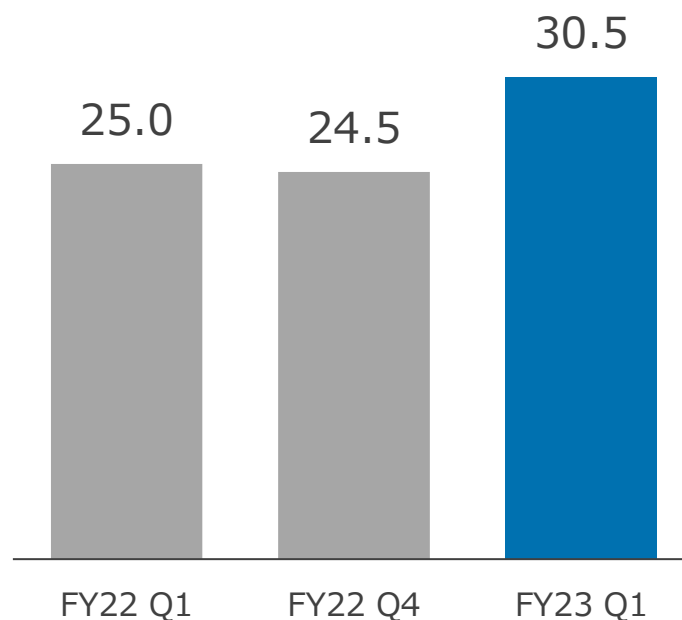
- 全ての主要製品にて増収を達成し、増収増益
- 利益率は、成長投資をおこないつつも、ベンチマークとしている20%前後のレンジにおさめることができた

売上収益 (十億円)



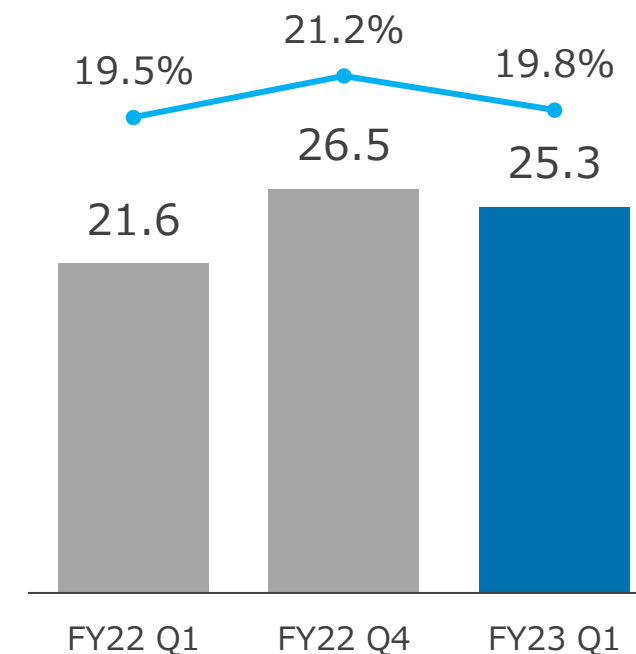
YoY +15% (CC +11%)

税前利益 (十億円)



YoY +22% (CC +16%)

Cf.通常の営業活動からの利益/利益率



YoY +17% (CC +13%)

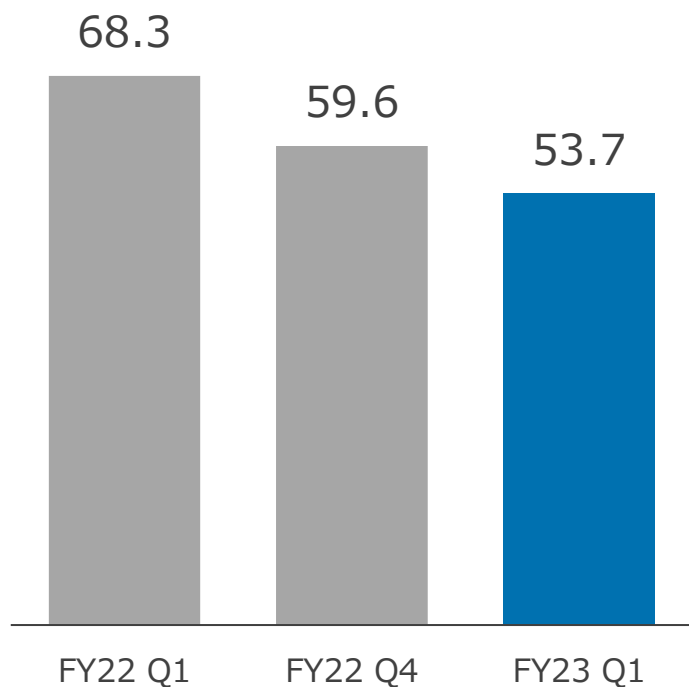
# ライフケア事業 製品別概況

製品	YoY	YoY (CC)	FY23 Q1の状況	今後の方針と展望
メガネレンズ	+17%	+12%	高付加価値製品の拡販、米チェーン店売上増、好調な中国売上が貢献	続々と新製品を投入、製品ポートフォリオをより盤石なものに
コンタクトレンズ	+9%	+9%	PB品や定期便が好調に推移	PB品、定期便に引き続き注力 若年層などの新規顧客の開拓
内視鏡	+13%	+6%	前年同期ロックダウンがあった中国売上が反動増。欧州の販売も堅調	新製品の着実なローンチ 米国事業の体制強化
眼内レンズ	+21%	+16%	中国売上が反動増。欧州、日本での好調が継続	3焦点IOLの各市場での着実な立ち上げ。市場を上回る成長の達成
人工骨ほか	+15%	+10%	製薬用のクロマトグラフィー担体や金属インプラントが引き続き好調	引き続き安定的な成長を見込む クロマトグラフィー担体の能力増強

# 情報・通信事業概況

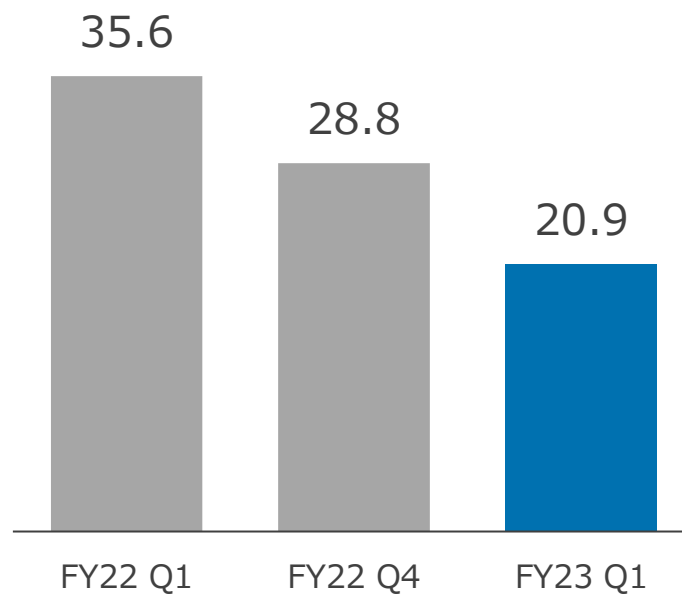
- HDD基板の需要が想定以上に減少したことなどにより減収。
- 利益率に対するインパクトは、機動的なコストコントロールにより最小化することができた。

売上収益 (十億円)



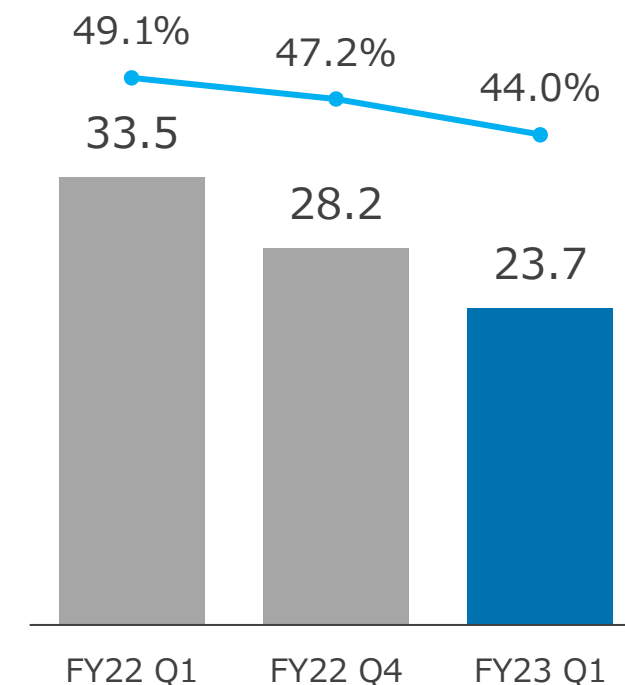
YoY -21% (CC -23%)

税前利益 (十億円)



YoY -41% (CC -43%)

Cf.通常の営業活動からの利益/利益率



YoY -29% (CC -31%)

# 情報・通信事業 製品別概況

製品	YoY	YoY (CC)	FY23 Q1の状況	今後の方針と展望
LSI	-8%	-9%	在庫調整の影響により減収 競争環境は変化なし	Q1を底に、Q2以降は緩やかな需要 回復を見込む
FPD	+2%	+2%	新製品開発活動が継続、前年微増 収に	2024年初頭の竣工を目指し、中国 工場の建設を着実に進行
HDD基板	-43%	-46%	マクロ環境の悪化等を背景にニアライ ン需要が想定以上に悪化	不安定な需要が継続する見込み ラオス工場の長期稼働停止
映像	-12%	-13%	カメラ向けレンズ等の反動増が大き かった前年同期に対して減収	光学技術を活かした新規事業分野の 開拓



# 貸借対照表/キャッシュフロー関連



## 株主還元

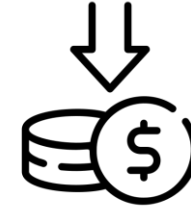
- 上限500億円の自社株買いを決議（期間 8/1-10/20）
- 取得株式は全株消却予定



## 設備投資\*

- Q1実績：72億円  
（YoY -2億円）
- FY23年間は390億円前後を見込む

\*CFベース。有形固定資産の取得



## 減価償却

- Q1実績：125億円  
（YoY +5億円）
- FY23年間はCCベースで前期比横ばいの見込み

## 02. FY23 Q2 業績予想

# 第2四半期予想

(十億円)	Q2 FY22	Q1 FY23	Q2 FY23	QoQ	YoY
売上収益	184.1	182.3	182.7	+0%	-1%
税引前四半期利益	61.8	51.2	53.8	+5%	-13%
四半期利益	47.3	38.5	42.1	+10%	-11%

HDD基板がQoQで悪化するものの、順調なライフケア事業やLSIブランクスの緩やかな回復により、Q1をやや上回る業績を見込む。

為替前提：USD=135円、EUR=145円

# 本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2023年4月～2024年3月の会計期間を2024年3月期もしくはFY23と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。  
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 「通常の営業活動からの利益」は、税引前四半期利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。  
<https://www.hoya.com/investor/kessan/>

**Innovating For a Better Tomorrow**

**HOYA**